

Uモニ アンケート集計結果

第 131 回のテーマは、【ひきこもりに関するアンケート】でした。

- ◎ 登録者数 1,111 人
- ◎ 実施期間 令和 3 年 7 月 30 日(金)～8 月 5 日(木)
- ◎ 回答者数(回答率) 572 人(51.5%)



問 1. (学校や仕事に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに自宅に引きこもっている) いわゆる「ひきこもり」という状態をご存じですか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問 1. 「学校や仕事に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに自宅に引きこもっている」いわゆる「ひきこもり」という状態をご存じですか。	1.知っている	529	572	92%	
	2.聞いたことはある	40		7%	
	3.知らない	3		1%	

知っていると回答したモニターが 92%、聞いたことはあると回答したモニターは 7%となり、「ひきこもり」は多くの方に知られていることがわかりました。

問 2. 市がひきこもりの方ご本人やご家族などを対象に相談を受ける「ひきこもり相談支援事業」があることを知っていますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問 2. 市がひきこもりの方ご本人やご家族などを対象に相談を受ける「ひきこもり相談支援事業」があることを知っていますか。	1.知っている	113	572	20%	
	2.知らない	459		80%	

知っていると答えたモニターが 20%であるのに対し、知らないと答えたモニターは 80%となり、市のひきこもり相談支援事業の認知度が低いことがわかりました。

問 3. あなたの周りにひきこもり、もしくはひきこもりかもしれない方はいますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問 3. あなたの周りにひきこもり、もしくはひきこもりかもしれない方はいますか。	1.いる	93	572	16%	
	2.いない	329		58%	
	3.わからない	150		26%	

いると答えたモニターは 16% (93 人) でした。

問4. それを知ったきっかけを教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問4. それを知ったきっかけを教えてください。	1.学校にも仕事にも行っていないようだ	35	93	38%	
	2.時折しか出かける姿を見かけない	9		10%	
	3.自分自身がそうである	3		3%	
	4.家族・親戚から相談された	18		19%	
	5.友人・知人から相談された	10		11%	
	6.その他	18		19%	

学校や仕事に行っていない様子から知ったというモニターが38%と最も多く、次いで家族・親戚から相談されたモニターが11%、友人・知人から相談されたというモニターが10%と、人から相談されて知るというケースも多いことがわかりました。

問5. それを知ってからどのくらい月日が経っていますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問5. それを知ってからどのくらい月日が経っていますか。	1.1年未満	15	93	16%	
	2.1年～2年未満	11		12%	
	3.2年～3年未満	13		14%	
	4.3年～5年未満	8		9%	
	5.5年以上	40		43%	
	6.わからない	6		6%	

5年以上と答えたモニターが43%と最も多く、次に1年未満が16%、2年～3年未満と答えたモニターが14%という結果になりました。

問6. その方について誰かに相談しましたか。【複数回答可】

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問6. その方について誰かに相談しましたか。【複数回答可】	1.あなたの家族・親戚	20	93	22%	
	2.行政機関	10		11%	
	3.民間ネットワーク	2		2%	
	4.教師や勤務先の上司・同僚	6		6%	
	5.あなたの友人・知人	12		13%	
	6.病院・医療関係者	8		9%	
	7.カウンセラー	5		5%	
	8.民生委員・児童委員	1		1%	
	9.相談はしていない	52		56%	
	10.その他	1		1%	

相談していないと答えたモニターが56%で、半数以上のモニターはひきこもり状態の方について、誰にも相談はしていないという結果になりました。

問7. その方と同居している家族はいますか。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問7. その方と同居している家族はいますか。	1.いる	79	93	85%	
	2.いない	6		6%	
	3.わからない	8		9%	

同居している家族がいると答えたモニターは85%となり、複数人で住んでいる方が多いことがわかりました。また、いないと答えたモニターは6%で、単身のひきこもり状態の方もいることがわかりました。

問8. その方の性別を教えてください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問8. その方の性別を教えてください。	1.男性	65	93	70%	
	2.女性	25		27%	
	3.わからない	3		3%	

男性は70%、女性は27%で、女性よりも男性の方が多かったです。

問9. その方の年齢を教えてください。。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問9. その方の年齢を教えてください。	1.10代	29	93	31%	
	2.20代	15		16%	
	3.30代	14		15%	
	4.40代	12		13%	
	5.50代	10		11%	
	6.60代	5		5%	
	7.70代以上	4		4%	
	8.わからない	4		4%	

10代と答えたモニターが31%と最も多く、次に20代、30代と続き、ひきこもり状態の方は若い世代に多いことがわかりました。

問10. その方のお住まいの地区を教えてください。

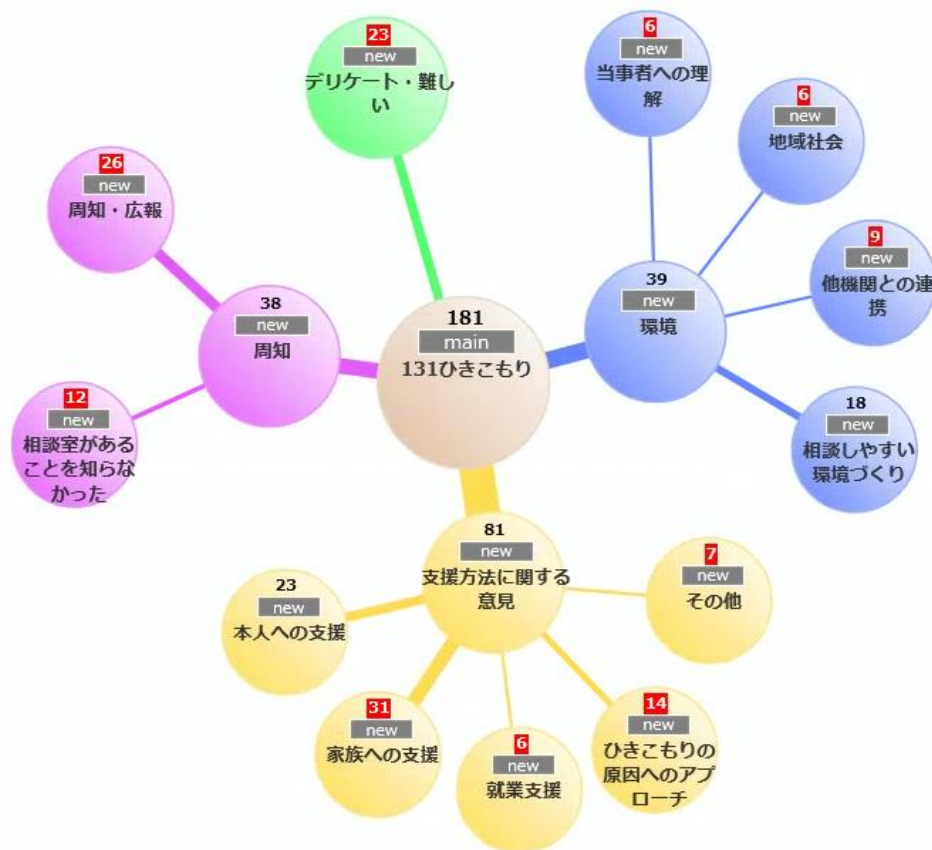
設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問10. その方のお住まいの地区を教えてください。	1.猫実	4	93	4%	
	2.当代島	0		0%	
	3.北栄	2		2%	
	4.堀江	4		4%	
	5.富士見	4		4%	
	6.東野	5		5%	
	7.鉄鋼通り	0		0%	
	8.富岡	2		2%	
	9.今川	0		0%	
	10.弁天	4		4%	
	11.海楽	1		1%	
	12.入船	7		8%	
	13.美浜	3		3%	
	14.舞浜	2		2%	
	15.港	0		0%	
	16.明海	2		2%	
	17.日の出	7		8%	
	18.高洲	4		4%	
	19.市外	34		37%	
	20.わからない	8		9%	

市外と答えたモニターが37%で最も多く、次に入船、日の出地区が多いことがわかりました。

問11. ひきこもりの支援について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

設問	回答内容	件数	合計	比率	グラフ
問11. ひきこもりの支援について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。	回答あり	230	230	40%	

ひきこもりの支援に関するご意見は、572人中230人(40%)のモニターからいただきました。



ひきこもりの支援について、「当事者だけでなく家族の支援も必要」、「SNSなど相談しやすい環境があるとよい」などのご意見をいただきました。

また、ひきこもりの相談窓口があることを知らなかったという意見も散見され、周知に課題があることがわかりました。

まとめ

今回のアンケート結果から、周りにひきこもりの方がいても、それについて誰かに相談したことがないという方が多い現状であることがわかりました。

また、浦安市のひきこもり相談事業の存在を知らない方は回答者の8割という結果から、更なる周知や相談しやすい環境づくりに取り組み、今後の相談対応の参考にさせていただきます。

今後も、「Uモ二」へのご協力をお願いします。